

一般廃棄物最終処分場の排水等に係る調査結果

1 一般廃棄物最終処分場の地下水及び放流水の状況

(1) 調査対象

全国の一般廃棄物最終処分場において、令和 4 年度から令和 5 年度に実施された地下水及び放流水の水質検査結果（それぞれ前年度（令和 3 年度実績、令和 4 年度実績）のデータを集計）。

※新基準値超の施設は追加調査を実施

(2) 調査結果

施設数は令和 3 年度実績が 1525 ヶ所、令和 4 年度実績が 1505 ヶ所であった。そのうち新基準適合不明を除く調査回答施設数は令和 3 年度実績が 1178 ヶ所、令和 4 年度実績が 1278 ヶ所であった。

地下水※1) の六価クロムが現行基準値 (0.05mg/L) を超過している施設は令和 3 年度実績と令和 4 年度実績ともに同じ 1 施設であった。また、新基準値 (0.02mg/L) を超過している施設は令和 3 年度実績が 1 施設、令和 4 年度実績が 2 施設であり、同じ 1 施設が含まれていた。

放流水の六価クロム化合物が現行基準値 (0.5mg/L) を超過している施設はなかった。また、新基準値 (0.2mg/L) を超過している施設は令和 3 年度実績が 2 施設、令和 4 年度実績が 1 施設であり、同じ 1 施設が含まれていた。

放流水の大腸菌群数が現行基準値 (3000 個/cm³) を超過している施設は令和 3 年度実績が 2 施設、令和 4 年度実績が 1 施設であり、同じ施設は含まれていなかった。

※1) 廃止確認時にのみ基準を適用する。

表 1 一般廃棄物最終処分場 **地下水** の状況

項目	六価クロム (mg/L)	
	R3 年度実績	R4 年度実績
最大値 (mg/L)	0.06	0.06
中央値 (mg/L)	0.01	0.01
施設数 (ヶ所)	1525	1505
現行基準値超過数 (ヶ所)	1	1
新基準値超過数 (ヶ所)	1	2
新基準適合不明 (ヶ所)	114	55
調査回答施設数 (上記不明除く) (ヶ所)	1178	1278

注 1) 令和 4 年度から令和 5 年度調査結果による。

注 2) 調査結果（測定値のアンケート）が定量下限値未満の場合は当該数値とみなして算出。ただし、定量下限値未満かつ定量下限値が新基準値超の場合は新基準適合不明としている。（例）水質検査結果が「0.05mg/L 未満」

注 3) 中央値とは、各最終処分場の測定結果の最大値を、小さい順に並べたとき中央に位置する値である。

表2 一般廃棄物最終処分場 放流水の状況

項目	六価クロム化合物 (mg/L)	
	R3年度実績	R4年度実績
最大値 (mg/L)	0.27	0.37
中央値 (mg/L)	0.04	0.02
施設数 (ヶ所)	1525	1505
現行基準値超過数 (ヶ所)	0	0
新基準値超過数 (ヶ所)	2	1
新基準適合不明 (ヶ所)	3	1
調査回答施設数 (ヶ所) (上記不明除く)	1185	1181

注1) 令和4年度から令和5年度調査結果による。

注2) 調査結果(測定値のアンケート)が定量下限値未満の場合は当該数値とみなして算出。ただし、定量下限値未満かつ定量下限値が新基準値超の場合は新基準適合不明としている。(例)水質検査結果が「0.5mg/L 未満」

注3) 中央値とは、各最終処分場の測定結果の最大値を、小さい順に並べたとき中央に位置する値である。

表3 一般廃棄物最終処分場 放流水の状況

項目	大腸菌群数 (個/cm ³)	
	R3年度実績	R4年度実績
最大値 (個/cm ³)	12000	43000
中央値 (個/cm ³)	5	5
施設数 (ヶ所)	1525	1505
現行基準値超過数 (ヶ所)	2	1
調査回答施設数 (ヶ所)	1181	1168

注1) 令和4年度から令和5年度調査結果による。

注2) 調査結果(測定値のアンケート)が定量下限値未満の場合は当該数値とみなして算出。

注3) 中央値とは、各最終処分場の測定結果の最大値を、小さい順に並べたとき中央に位置する値である。

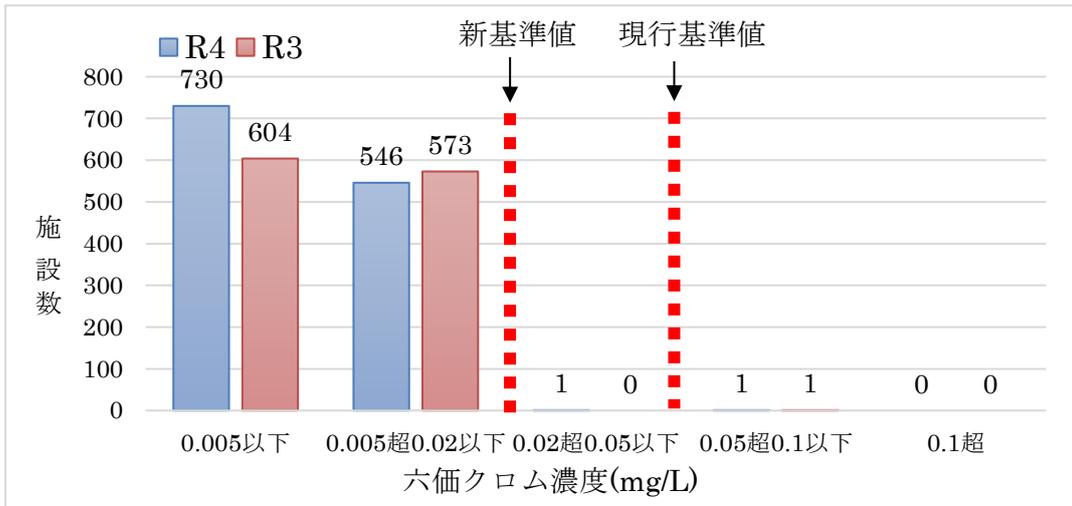


図1 一般廃棄物最終処分場 **地下水**中の六価クロム濃度分布

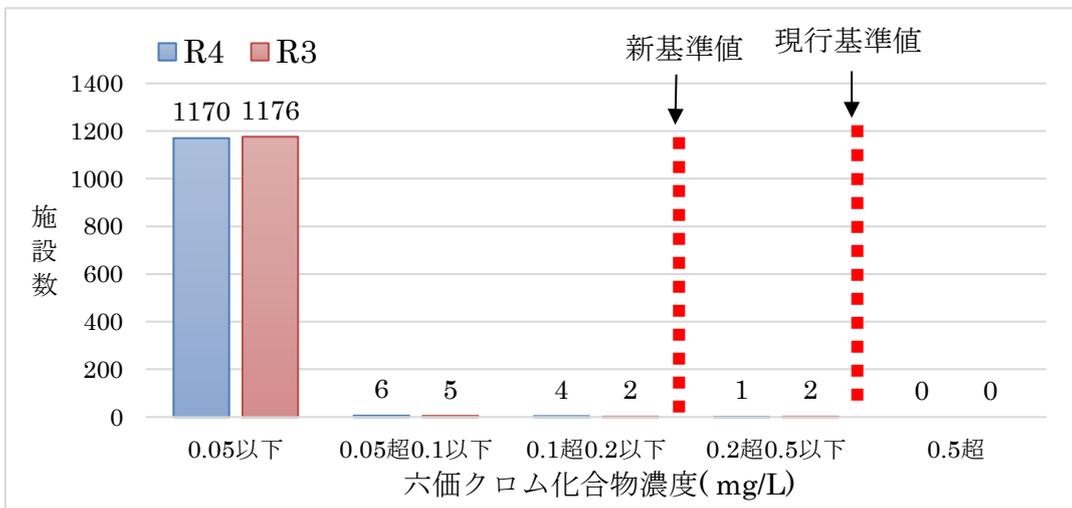


図2 一般廃棄物最終処分場 **放流水**中の六価クロム化合物濃度分布

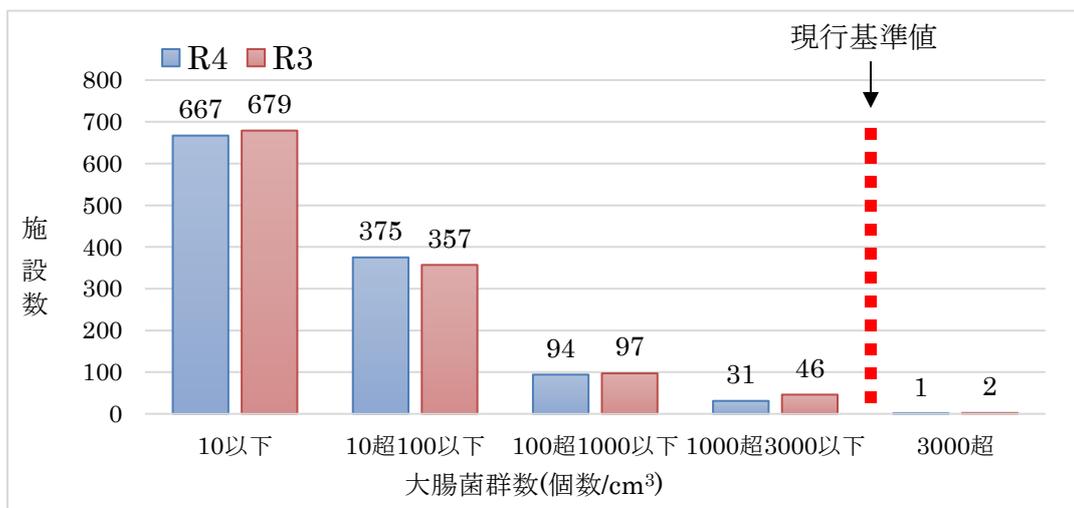


図3 一般廃棄物最終処分場 **放流水**中の大腸菌群数濃度分布

2 一般廃棄物最終処分場の保有水の状況

(1) 調査対象

一般廃棄物処理実態調査において令和4年度に廃止した全国の一般廃棄物最終処分場の保有水の水質検査結果（それぞれ廃止前2年分（令和2年度実績、令和3年度実績）のデータを集計）。

(2) 調査結果

令和4年度に廃止した施設数は11ヶ所であった。

廃止前2年分（令和2年度実績及び令和3年度実績）の保有水^{※2}の水質検査において、六価クロム化合物の水質検査を実施した施設数は9ヶ所であった。そのうち全ての施設において六価クロム化合物が新基準値（0.2mg/L）を大きく下回っていた。

廃止前2年分（令和2年度実績及び令和3年度実績）の保有水^{※2}の水質検査において、大腸菌群数の水質検査を実施した施設数は9ヶ所であった。そのうち全ての施設において大腸菌群数が現行基準値（3000個/cm³）を大きく下回っていた。

※2）廃止確認時にのみ基準を適用する。

表4 一般廃棄物最終処分場 保有水の状況

項目	六価クロム化合物(mg/L)	
	令和2年度実績	令和3年度実績
最大値 (mg/L)	0.05 未満	0.05 未満
施設数 (ヶ所)	11	11
現行基準値超過数 (ヶ所)	0	0
新基準値超過数 (ヶ所)	0	0
調査回答施設数 (ヶ所)	10	9

表5 一般廃棄物最終処分場 保有水の状況

項目	大腸菌群数(個/cm ³)	
	令和2年度実績	令和3年度実績
最大値 (個/cm ³)	160	250
中央値 (個/cm ³)	29	31
施設数 (ヶ所)	11	11
現行基準値超過数 (ヶ所)	0	0
調査回答施設数 (ヶ所)	10	9

注1)調査結果（測定値のアンケート）が定量下限値未満の場合は当該数値とみなして算出。

注2)中央値とは、各最終処分場の測定結果の最大値を、小さい順に並べたとき中央に位置する値である。